



ゆめ
つくる
ふくい

FUKUI
PHOENIX
PROJECT
文部科学省 平成28年度
大学地域連携推進事業

ISTS福井大会 開催記念

宇宙アイデアソン

宇宙でのくらしに役立つ“衣食住”のアイデアを!

2019年のISTS福井大会開催にあわせ、県内企業と地元の学生による“宇宙の衣食住”をテーマにしたアイデアソンを実施します。

学生チームに協力企業がオブザーバーとして加わり、企業が持つ知見やノウハウを参考にして、衣・食・住それぞれのテーマ毎に宇宙でのくらしに役立つようなモノや製品についてアイデアを出し合い検討していただきます。

出そろったアイデアは2019年6月に開催されるISTS期間中の最終プレゼンにて発表し、

優秀チームには賞品を進呈します。

実施概要

参加対象

県内大学・短期大学・高校・専門学校の学生・生徒 ※ただし、2019年3月に卒業見込みの方をのぞく
チームごとの申し込みとし、1チーム4人までで最大10チームとします。
※応募多数の場合は課題によって書類選考します。

参加企業

県内外のものづくり企業や
当事業を応援する企業数社

実施方法

チーム毎に「衣」「食」「住」いずれかのテーマを選びます。各チームにはオブザーバーとして協力企業が参加します。企業のもつ知見や技術を参考にし、宇宙にあったらいいな・宇宙で役立つだろうと思うモノや製品について学生と企業が協力してアイデアを出し合います。

アイデアソン期間中は専門的な内容等外部アドバイザーに質問や相談が可能です。また、各チームの学生が在籍する学校の先生または教授には、モデレーターとしてチームの進捗管理やアドバイザーへの質疑対応をお願いします。出し合ったアイデアは一つのプランとしてまとめ、ISTS福井大会期間内の6月15日にプレゼンしていただきます。

実施期間

2018年12月～2019年6月

※1 選考となった場合、選考通過チームにメールにてお知らせします。

2019年 1月31日(木)	▶	課題受け取り後～ 2019年2月20日(水)	▶	2019年 2月20日(水)～2月28日(木)	▶	2019年 3月1日(金)	▶	2019年 3月25日(月)	▶	2019年 6月15日(土)
応募締め切り		課題提出期間		選考期間		参加チーム発表 (※1)		オリエンテーション・ 企業紹介		(ISTS期間内) 最終プレゼン

賞品

各テーマ最優秀チームにそれぞれ
50,000円分のクオカード
※参加チームすべてに参加賞があります

テーマについて

衣 = 「宇宙で着たい着衣」

宇宙空間・環境を考慮した着衣／宇宙空間で想定される課題を想定し、それを克服する着衣

食 = 「宇宙で食べたい福井の宇宙食」

福井県産の材料を使用する／宇宙食に求められる規格を考慮する

住 = 「宇宙で暮らすために必要なもの」

宇宙空間で快適に生活するために必要なもの、あると便利だと思うもの

※でてきたアイデアについての製品化や事業化については企業の判断にゆだねます

協力企業

各テーマ毎に知見や技術を持つ
企業を予定しています。
オリエンテーション時に発表します。

申し込み方法

下記URLまたはQRコードから“ふくいPHOENIXプロジェクト”のサイトへアクセス、「ふくい宇宙アイデアソン」のバナーから応募フォームへすすみ、必要事項をご記入の上お申し込みください。応募完了後、追って書類審査用の課題を送付します。

必要事項

「参加者氏名・学校・学年・年齢(4名分)」「代表者氏名」「代表者連絡先(電話番号、メールアドレス)」

「モデレーター(担当教諭・教員)」「希望するテーマ(第1～3希望まで)」

※高校生チームの代表者は、担当教諭・教員でも可能です。※偏りを防ぐため、希望するテーマは第3希望まで記載ください。

特定のテーマに希望が集中した場合、事務局にて調整させていただく場合がございます。ご了承ください。

www.fukui-ut.ac.jp/phoenix/



申し込み締切

2019年1月31日(木)

※課題の提出締切は2月20日(水)

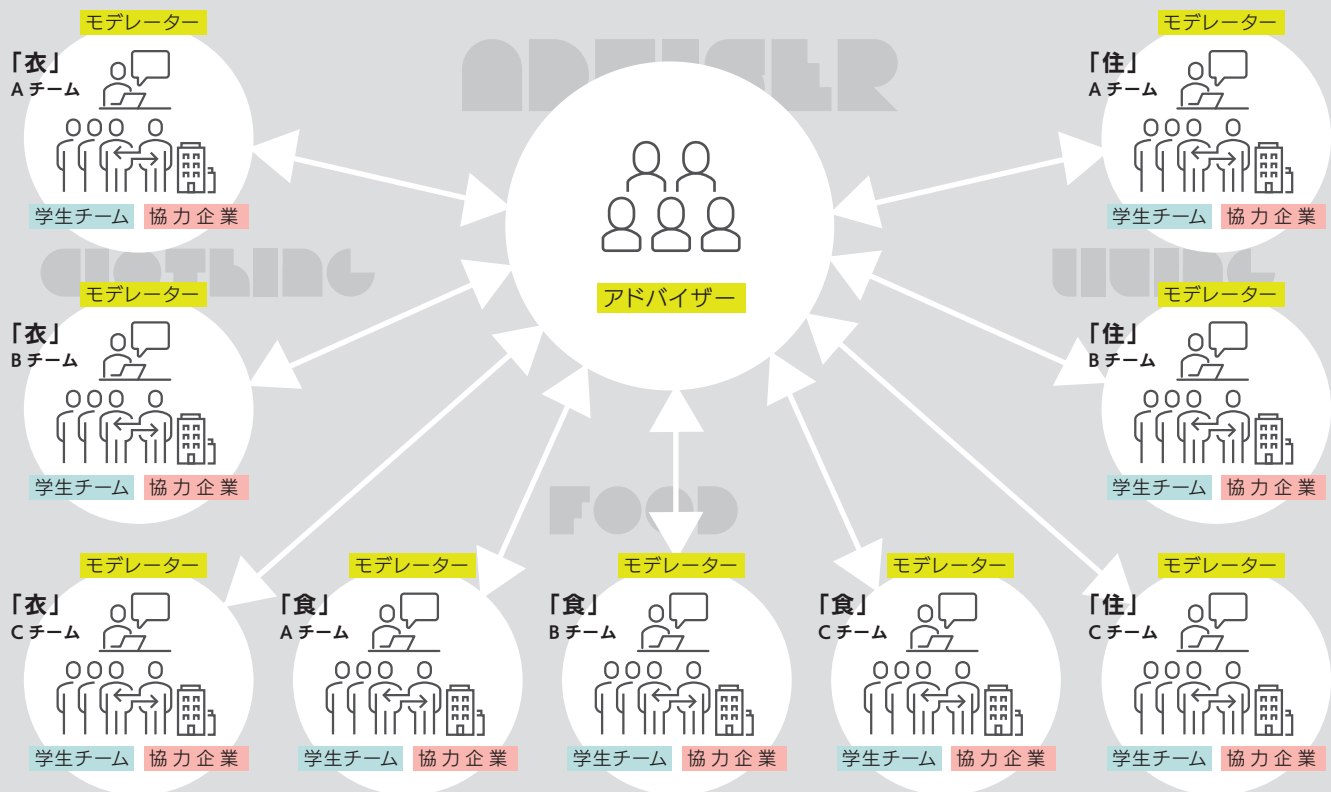
お問い合わせ

☎ 0120-99-7361

(平日9:00～17:00)

※福井工業大学 地域連携研究推進センター

アイデアソン関係者相関図イメージ



アドバイザー

出されたアイデアやアイデアソン全体について総論的に評価講評できる方。
衣・食・住についてのそれぞれの専門家／宇宙ビジネスに精通している方／JAXA など

学生チーム

学校ごとにチーム編成する／1チーム最大4人で高校・大学あわせて最大10チーム
各学校の先生がモデレーターとなり、学生へアドバイスする／
専門的な質問については、先生からアドバイザーへメール等で質問し、学生へフィードバックする／
各企業の担当者ともやりとりし、技術や製品について理解を深める。

企業

担当者をつけ、学生チームとの窓口としてもらうなど、学生と密に連携する／
学生へ自社の持つ技術や製品を紹介し、また学生からの質問等にも答える

アイデアソン実施スケジュール(予定)

